



手紙～拝啓15の君へ～

今日は朝から冷たい雨が降っている中での登校となりました。まだインフルエンザの猛威は収まってはいませんが、一時期ほどの感染拡大のピークは過ぎたように思えます。

午前中、3年生の教室をのぞいてみると、少し張り詰めた空気の中、どの教室でも真剣な表情で取り組む姿が見られました。授業の内容も入試に対応したものが多くでした。

多くの3年生が公立高校を受検するので、すでに先週の金曜日、各自が受検する高校へ願書を提出してきました。いよいよ来週、公立高校の前期選抜試験を迎えます。

今日の朝刊に、〈公立高校前期選抜志願者数〉が掲載されていました。現在の高校入試は、現在の中学2年生までは前期入試・後期入試の2回実施するようになっていきます。そして、いつも前期の倍率は大変高いのです。ちなみに、県内で最大規模の募集定員のM総合高校の総合学科は定員680人ですが、前期合格予定者数408名に対して志願者が1005名となっています。すなわち、600名ちかくの志願者は前期入試でふるいにかけられることとなります。もちろん、倍率で言えばさらに高い倍率の学校もあります。高校によってかなり倍率に差はありますし、後期にもう一度チャンスがあるとはいえ、子ども達にとってはかなり厳しいものです。

アンジェラ・アキの「手紙」という歌があります。この歌には〈15の君へ〉というサブタイトルが付けられています。この曲は、15歳の時の彼女が未来の自分へ宛てて書いた手紙をお母さんが大切に持っていて、彼女が30歳になった時に、お母さんから送られてきたその手紙を見て、過去の自分へ向けて言葉を贈る、というものだったようです。

今、進路に向けて荒波の中に舟をこぎ出した3年生に、この歌詞を贈りたいと思います。左側が15歳から未来へ向けた手紙、右側が未来の自分が15歳の自分に送った手紙です。

手紙～拝啓15の君へ～

アンジェラ・アキ

拝啓 この手紙 読んでいるあなたは どこで何を
しているのだろう

十五の僕には誰にも話せない 悩みの種があるの
です

未来の自分に宛てて書く手紙なら
きっと素直に打ち明けられるだろう

今 負けそうで 泣きそうで 消えてしまいそうな
僕は

誰の言葉を信じて歩けばいいの？

ひとつしかないこの胸が何度もばらばらに割れて
苦しい中で今を生きている

拝啓 ありがとう 十五のあなたに伝えたい事がある
のです

自分とは何でどこへ向かうべきか 問い続ければ
見えてくる

荒れた青春の海は厳しいけれど
明日の岸辺へと 夢の舟よ進め

今 負けないで 泣かないで 消えてしまいそうな
ときは

自分の声を信じ歩けばいいの

大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど

苦くて甘い今を生きている

人生のすべてに意味があるから

恐れずにあなたの夢を育てて…

(後略)